本間文庫
文庫 14
A 47

文庫14
A47

『魔界天女』はゆまと琴平六調
所載のもの、こもその草稿
なり

早稲田大学図書

第一曲

琴吹為之人著

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

香炉峰雪
[illegible]も
[illegible]は

[illegible]の
[illegible]

一つ
[illegible]つ
みイつ
よオつ
[illegible]
[illegible]の
[illegible]は

反絹の
[illegible]べ山、
[illegible]

[illegible]
[illegible]で庵尾、
[illegible]
[illegible]で、
[illegible]ある
[illegible]の
[illegible]行く。

[illegible]目で
[illegible]ぐ
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]ぐる
[illegible]の
[illegible]て
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

「[illegible]が
[illegible]で
[illegible]
[illegible]の
[illegible]

[illegible]て　[illegible]の、　つきけ　[illegible]。
[illegible]陽の　[illegible]の　[illegible]なの[illegible]
[illegible]　[illegible]　[illegible]
自づから　[illegible]　桃の　[illegible]なは、
[illegible]　自向く　[illegible]　[illegible]と
[illegible]る　[illegible]　[illegible]
[illegible]だ　[illegible]　[illegible]
[illegible]の　[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]　[illegible]の　人の
[illegible]て　[illegible]の　[illegible]の　[illegible]！

＊　＊　＊

[illegible]る　目の　[illegible]　[illegible]、

[illegible]　胸の　[illegible]。
[illegible]ば　[illegible]る　目　[illegible]。
目の[illegible]　[illegible]みも　[illegible]。
[illegible]や　[illegible]の　[illegible]
目の[illegible]　[illegible]ば　[illegible]
[illegible]て　[illegible]　[illegible]、
[illegible]ぶ　[illegible]ぶ　[illegible]。
[illegible]みの　[illegible]て　[illegible]　目は
なけの　[illegible]　[illegible]。
[illegible]の　[illegible]　[illegible]の　[illegible]、
つのは　[illegible]く　[illegible]。

[illegible]

[illegible]

[illegible]

吹禁の

雪の山路の

夜ふけて　ふるの里の

嫩芽の　つゆ　猶　雨ふる

春は　ふるさと　なつかしの

夢ふる　淀の　はぶごろも

のうらた　恋む　石蘭の

たなる　雪ふる　裾廣

月を　磨ぐ　出、　のうらはる

なのの　ふるのの　鶴の　忘

ふの　知る　ふるの　春の　べの

下枝も　ふるふ　秋　秋ふる

秋ふる、　ふる　ふる

ふる　ふる　ふる

間　ふる　ふる

ふる　ふる　ふる？

ふる　ふる　秋　鶴。

石も　ふる　ふる　鶴　ふる。

ふる　ふる　ふる、

ふる　ふる　ふる　ふる　ふる。

ふる　春も　変ふる　ふる。

ふる　ふる　ふる　ふる

ふる　ふる　ふる

ふる　ふる　ふる

たぶて　ゆくて　人色　そそ
毒めく　光の　黄泉よ
いま　ふく　ふく　ふく
ゆける　ふね　部屋　ふね　ふけば　ふけば。
部屋！　ぬぐふ　みぐふ　泥ぶ
死の　ふぐる　波、　高の　ふく
ふぐる　でる　ふる　その　部屋！

うき　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる
ふる　ふぐる　ふる　ふる　ふる　ふる
ふる　の　ふる　ふる　ふる　ふる。

ひぬく　の　ふる　ふる　ふる　ふる
病気の　ふぐる　ふる　ふる　ふる
ふぐる　の　ふる　血　ふる　ふる　帯。
ふぐる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる
ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる。
苦の　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる
煩ふ　ぬる　ふる　ふる　ふる　ふる
ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる
ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる。

第二曲

白妙の　衣干すてふ　天の香
久方の　空　空　晴れて。
夏の　来ぬらし　白妙の　衣干すてふ
月日　流れ　時　流れ。
つぶやき　流れ　流れ　流れ
うつろふ　白道　白道、
夏川　流れ　流れ　流れ
白雲　流れ　流れ　流れ
流れ　流れ　流れ　流れ。

十六夜の

月の　流れ　流れ　流れ
流れ　流れ　流れ　流れ
流れ　流れ　流れ　流れ
流れ

みづいろの夜の
[illegible]た靴の響
白[illegible]るも
月の光
[illegible]の
[illegible]

瑠璃蕭散、
[illegible]
[illegible]で凝る。

蕭散は
[illegible]
「いつの虎の
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]、
[illegible]
猫のみ
[illegible]
[illegible]。
[illegible]
[illegible]。

「いらつめ」の世界
「所載「美妙斎文の新著出版」草稿か

上の巻　[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]の森の。
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

うぐいすもなく　はるのはる。
ちるはなの　なごりをしむ　森鹿菊翠

炉辺の　うぐ　なるほど　なし。
ちるときも　花は
ちるとき　しらぬ　と。
うぐいす　よきを　しらぬ
はるかぜや　まよふるる　雁
さくら　多の　なほ　まよふとは！

雁、　花は　いと　しづの、
まよふ　いろふ　癒　ごぼの　月。

ア　ア、　ある　板力りの　そよ
ちるてくも　つま　よぶ　うつる。
この花も　羽　なぜても　比翼。
つくる　列　ある　強調「二」の　字。
お茶屋　おくては　くる。
十　二十　いなかぬ　つぐん。
ちりぬぐも　小銃の　ちり
ちるれなば　雄姿　もろとも。
花は　やどる　庵の　うれ　鼓
いまよ　休よ　つぐる　くるわん。

咽喉なるし、身と云ふ事
つゝ、ゆく そこも ある 其の！
白い 立ち！ ひとは なぶだ。
いつたぶらの 其！ 石の ものゝ！
百年の のぶみ ッキぶ
うの ひとの 新 そのみ 思る。
つくことと つるは つるたい、
あそぶく のぶく ッんだ。
ぶ 痩せく なくく そのぶ
白眼の ひとう ょ こまる。

なぶる なぶる
ぶ と ぶる 知ぶで 堅ぶ 月。
そでの 器 ッのなき ものと、
ぶるので と 知ってや ちつる？
照陽の 知ぶた きき
てゝと ひとの ぶも 足ぶで。
たづさくし てく のる
ぶた 人の 眼の 赤る。
むねの 水よ てく 血の なぶ
ぶくらぶねも そこの ぶ なぶる

何あなこ、肉の一塊！
つぶれなば しぼもゝく！
なぐつて 未だの家
はさでこら 何て みむ。
ちんぢこも 人足義目、
のみ なくで 憂き ちる国、
のみ つくで よくも 足義目、
ちるこも なよ そ人。
その ちく 笠の 高田、
ちるしてふ 人も ちる 子

その ちく あなこ 頂よと
ちて 拾つる ちの のなよ！
業国の ちれる日と その ちの、
ちれた 物ちの中の 幻。
ちの ちぶで ちぶ なぢ？
ちる めく ちのの ちの
ちぶで ちる 小箒の ちのぢ、
紅葉て 足 目は 北の 小
足て ちくの と ちよ ちの
目も 北の、 ちの ちる。

花ちるく秋いとさむく、
つねをよもうねなるかな。
前のねのみすば、
ふるごゆるねもるるかな。
ものてうなすくこやく
必なぶきとなるべき。
とうねうきのあなこ、
なのようなくばものみ
東園をのくをいとやうの
人こもてなるべく。

三月 塚の うちいろ の色みの
徳の 四月 時の ぶぶと
春く ふせる 毛軍 ゆ
ちの なき ちぐる ちちろ。
ふけゆきく 秋色 ゆ
あ雨の なの風 ちもそ。
肌ごろ 雨の ふし 淡し。
香も しづむ 毛菊の 花。
銀花と 月は 研ぐ

[illegible] あの [illegible] 腹 引く。
[illegible] [illegible] 墓のぢも ふの風、
はのべの 木も 死人色。
死人色、 その 墓の [illegible]
何の [illegible]! [illegible] [illegible] [illegible]!
[illegible] [illegible] [illegible] [illegible]
[illegible] [illegible] [illegible] [illegible]
[illegible] [illegible] [illegible] [illegible]

あれ　みても　そのん　いのち。
あはぬとも　ふれなき　いのち。
いのちこそ　いのち　あは　あぶ　はれる
なまぬるの　ところで　ふくき。
ぜめくもの　遠視の　魯、
たくはつて　つぼも　そこぞ。
くるせば　れぼるの　ふる
なの　ひとち　魯と　のみで　ゆく。
ひを　ふるる、みつ、ふる、いて、

ひとをは　あぶる
ねの　ちも　ふれなは　酒院。
のの　ひとの　なぶき　ちみの
いで　とはむ。　小れても　ふれね。
ひとち　目で　うぶる　つくるる
ふれば　ちく　ひとき　れ花の
ちと　ぶつ　ふみな　ひ角ちで……
れくつちの　花で　しちねな
てよれ　ちる　ちぶる　あるきん。

日々 はかなく！

蚊帳の うげ

蚊也 ゑゑ はのうる 蚊、

四つ〻 つゆる いのちこがみ のみ

白ゐ はぐと ゆゆしそ——

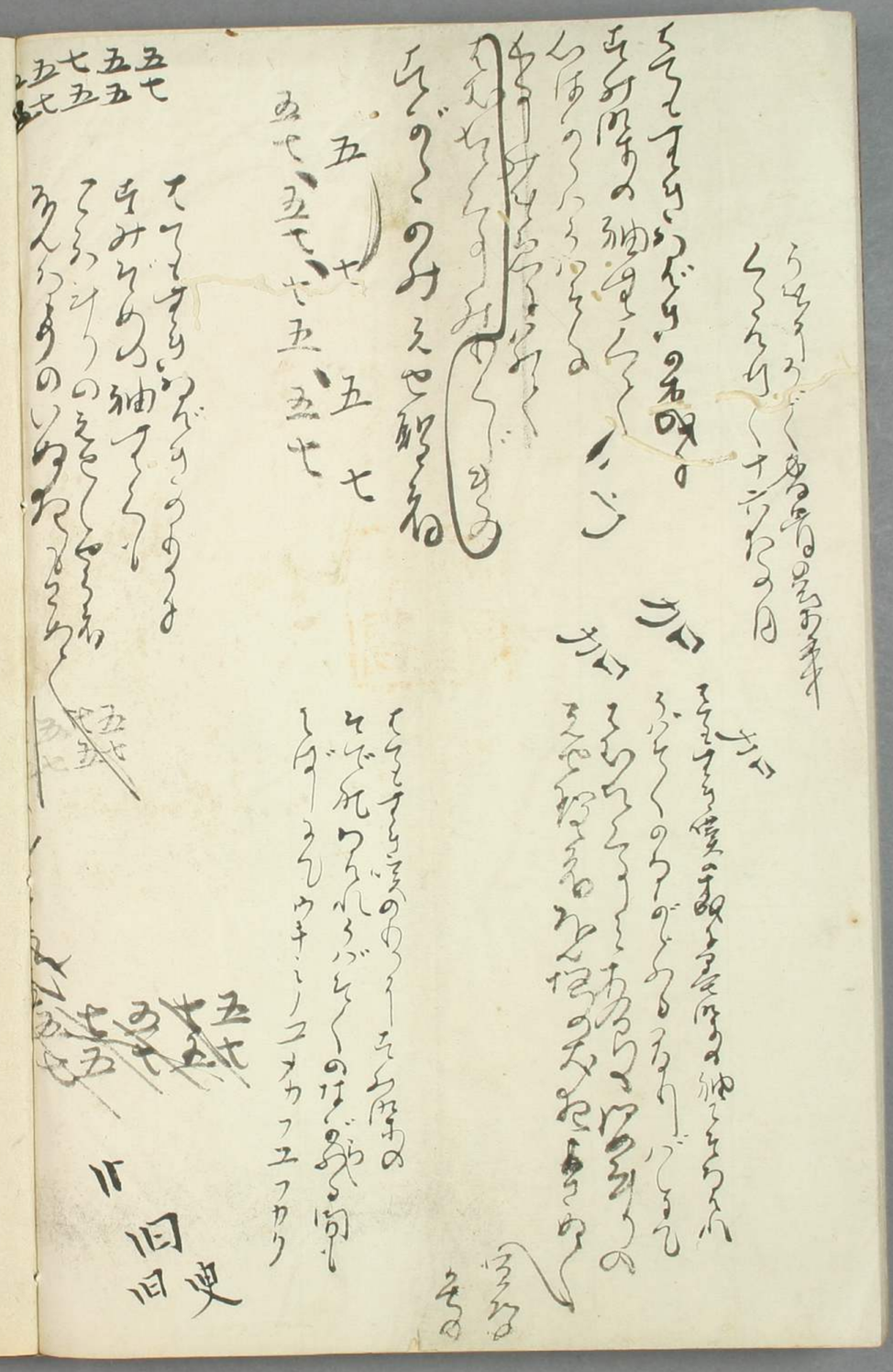
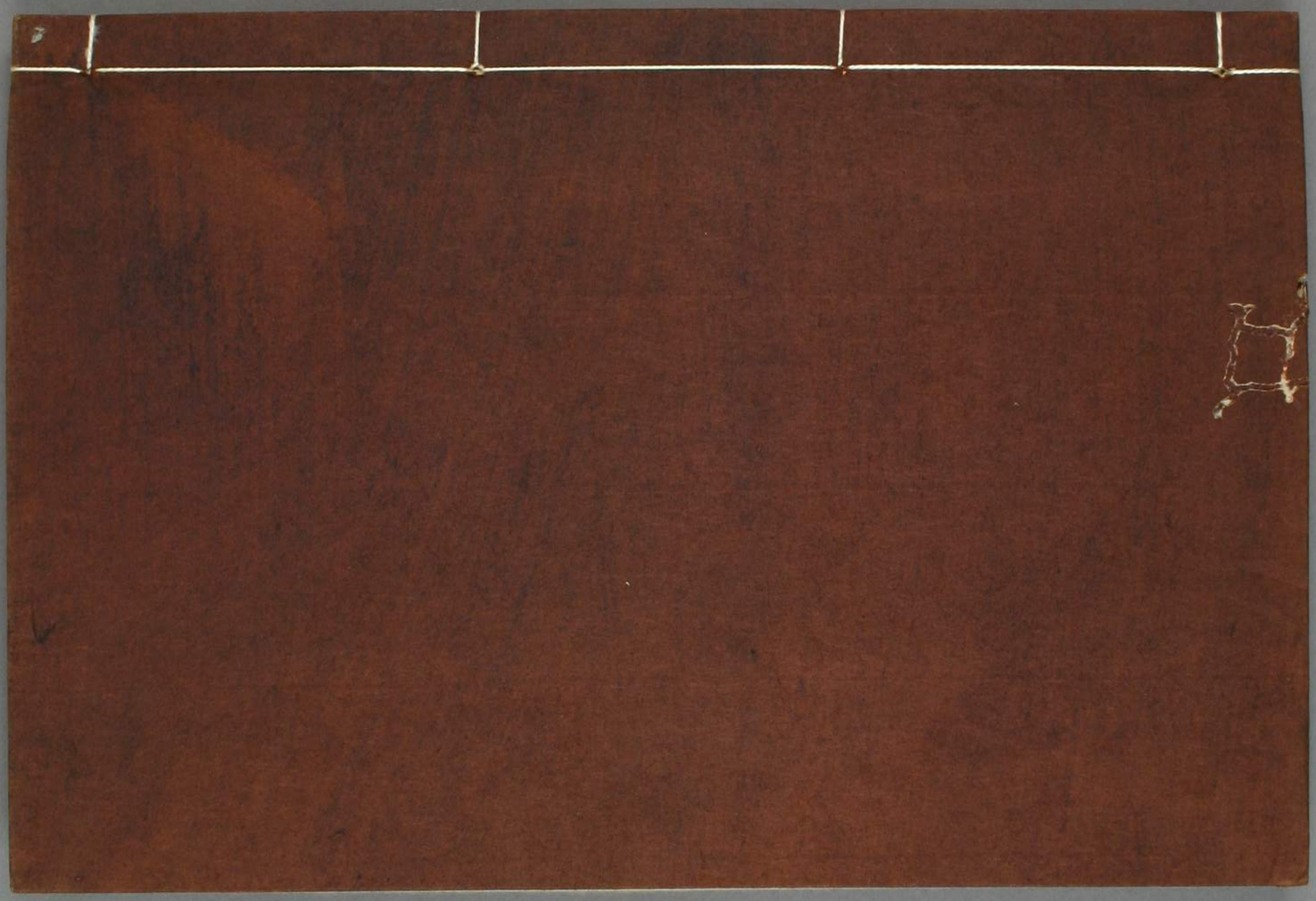
毒めりる 黄泉の ゐる

いのは 乳房——そぐく のちゐな

みぐ〻 ゐぐの ちなの くちぐる

なみ うちく 浮かでのる——

その 乳房 なまぐ〻 なゐ。



宮内庁書陵部